

★令和5年度第1回 SAH 講演会 感想文②★

『岡山大学中山芳一准教授』をお迎えし『これからの時代を生きるために必要な力ー非認知能力を自ら伸ばすためにー』をテーマに『SAH 講演会』を3月7日木に開催することができました！たくさんの来校者からのいちばんの感想としてあげられていたのは、『前南生が主体的に運営していた』『玄関や受付で気持ちよい挨拶と笑顔で来校者を出迎えていた』『前南生が講演に聴き入っていた』『楽しそうに中山先生の冗談にリアクションしていた』『積極的に次々に質問していた』『質問の内容が講演の内容を理解しているが故の質問ばかりであった』など、『SAH 事業によって刺激を受けている非認知能力を意識している前南生の立派な姿』でした！前号では、1年生の感想文を紹介しましたが、Vol.37では2年生の感想文（一部抜粋、一部修正あり）を紹介します！1年生の感想文も、2年生の感想文も、中山先生の講演の内容を深く理解していることが読み取れます！それだけではなく「自分事」として捉え、「今後に活かす」という姿勢が感じられます！今回、一部の生徒の感想文しか紹介できませんでしたが、もっともっと紹介したい文章がたくさんありました！中山先生にはここに紹介できなかったものも含め、たくさんの感想文を郵送しました！今後のみなさんの変化も中山先生に報告予定です！素晴らしい感想文をありがとうございました！（文責：教頭 星野 亨）



今回の講演はまるで自分のためにあったのではないかと感じてしまいました。自分自身の昔や今、そしてこれからどう生きていくかについて考えさせられるような話に惹き込まれてしまいました。自分は比較的ポジティブ思考で前向きでありたいと日々考え、やる気系の自分を高める力はそれなりに持っていると思います。ただ、他者とつながる力のコミュニケーション力、これが本当に劣っています。今まで無意識に逃げていたことに気づきましたが「変わる人：それが真の勝利者」という言葉に心を動かされました。 2年1組 大塚 海晴

自分自身と当てはまる点が多く、聞いていて大変参考になりました。私はネガティブ思考で自分に自信が持てず、テスト前には特に危機意識が強くなって過度に自分を追い込んでしまい精神的な疲労を感じやすいタイプです。高校入学後、特にこの1年は悩んでいたのですが、先生の「危機意識」と「充足意識」の使い分けの考え方や方法を学び、心が軽くなりました。これから1日の最後に自分の良かったところなどポジティブポイントを見つけて自信につなげていきたいです。 2年4組 吉澤 凜佳

先生のお話を聞いて「アンチを作らないようにすると自分の主張ができなくなる」とは、まさにその通りだなと思いました。私は人とのコミュニケーションを交わしていくなかで、意見の対立が面倒だからといって、人の意見を受け入れ、自分の意見が言えないことが多いです。状況によってはプラスにもマイナスにもなります。アンチを作らないで済むけど、自己主張ができなくてモヤモヤしたまま終わってしまいます。そうならないためには自分が変わる努力をしなければなりません。「唯一生き残るのは、変化できる者である」とチャールズ・ダーウィンが述べたように、自分をしっかり見つめ直し、「自分は変わるんだ」と言い聞かせることが大切だと思いました。 2年2組 内藤 みら



気質のように生まれながらにして持つ変えられないものはそれとして受け入れ、向き合い、経験を重ねていきたいと思いました。古代ギリシャの哲人ディオゲネスの言葉と言われる「習慣は第二の天性なり（Custom is a second nature.）」にあるように、日々の振り返りや普段からやっていることへの「+α」の意識をしてみることで、使い分けなどをできることから少しずつ始めて、まるで生まれつきからの性質のようにしていけたらと思います。 2年3組 渡辺 望央

AIが数値化できる物事に対して人間よりもはるかに優れた能力を持っていることを念頭においた上で、我々人間がすべきことは人間性を磨くことだとわかりました。人間が人間たる理由であるとおっしゃっていた「前頭前野」の働きをよりよいものにするために、日常から意識を変えていこうと思いました。「変化できる者」になるための一歩と思い日記をつけてみたり、その習慣化を試みたり、様々なことを考えて社会に出たときに活躍できるようにするための道を模索していきたいです。 2年5組 上野 成海

★令和5年度前橋南高校 SAH 『総括』★

あえてひとつひとつを解説しませんが、写真を見ただけで『事業内容』がわかる前南生が多いのではないのでしょうか？すべて『生徒主体の活動』です！来年度はどんな内容が出てくるのか楽しみにしております！まずは『文化祭』きっかけでなにかが起ころう気がします！期待して待っています！



★令和6年度実施予定『本校生徒の主体性を高める取組』★

- ①『生徒の主体性を育てる授業』 ②『個別最適化した生徒への課題』 ③すべての『考査』を4日間で実施
- ④生徒が作成した『身だしなみルール』の運用 ⑤『身だしなみ』の『セルフチェック化』
- ⑥『3年間を見通した進路指導』 ⑦『サタデープラン』の大幅縮小 ⑧『生徒の主体性を育成する補習』の企画 ⑨『Classi』を利用した自主学习促進
- ⑩『生徒の主体性を発揮できる学校行事』の設定 ⑪『生徒の主体性を発揮できる部活動』の促進 ⑫『生徒の主体性を発揮できる環境』の整備

学校も『生徒の主体性を高める取組』を加速して参ります！令和6年度の前南SAHをどうぞよろしくお願いいたします！1年間ありがとうございました（教頭）！

★校長より★

生徒・保護者、教職員及びMAENAN SAH Journal をご覧になっている皆さん、先週号から続く生徒のSAH講演会の感想を読んでいかがですか？私の感想は「やっぱり、前南生ってすげえ」です。講演から「気づき」→「理解」→「判断」→「行動」ができるんです。誰かに諭されたり、指示されたりしたわけではありません。子供達の可能性は無限大ですね。写真で振り返る「事業内容」もいいですね。生徒が主体となって実現した、これまでなかった前南の取組です。実現までに喜怒哀楽はありましたが、よく頑張りましたね。教職員の方々も、「時には厳しく、時には優しく」生徒の考えに寄り添いながら考えていただき感謝しています。上記の取組は、実施し、検証しながら変化していくものです。教職員と生徒、保護者が協力しながら、新しい前南を作り上げていって欲しいと思います。今までありがとう、「我が生涯（まだ閉じませんが笑）に一片の悔いなし」です。 校長 関根 正弘